



兵庫県立大学 **がん看護開発センター**

〇●〇事業内容〇●〇

がん看護開発センターでは、がん看護に関するエビデンスを蓄積するために、以下の4つの事業を展開してきました。

1. 複雑な臨床問題に対するコンサルテーション技術、症状マネジメント技術、療養相談技術、意思決定支援技術、組織コンサルテーション技術、がん医療における看護師に臨床判断技術などの手法について研究を推進する。
2. がん看護専門看護師と連携を図り、研究成果の臨床応用に向けた検討を行う、現場への適応を進めるための洗練作業を行う。
3. 他の看護系大学(特にがん看護教育課程)とのネットワークのなかで、がん医療の中で看護の役割を拡大して臨床判断やアセスメントを行い“ケア技術”の視点で医療を実施することができる Advanced Practice Nurse: APN(含 CNS)を育成のためのカリキュラムの開発を行う。
4. がん看護に従事する在宅や病院の看護師のための、インテンシブセミナーを開催する。

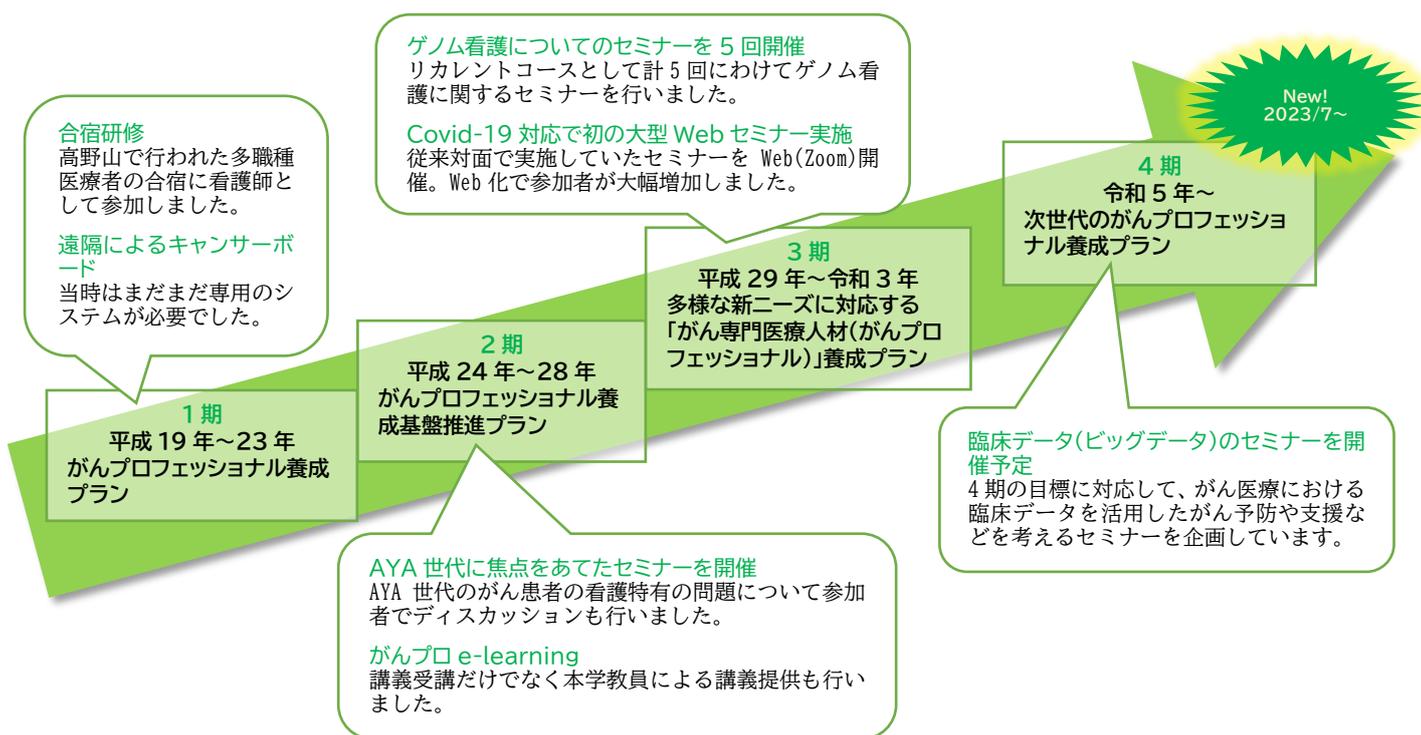
〇●〇がんプロ事業〇●〇

本センターの事業として、3と4に関わる APN の育成に関しては、平成19年(2007年)より開始したがんプロ事業*と連携を図り推進してきました。

2023年7月からは、第4期「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」に参画し、特にゲノム情報を用いたがん医療、医療ビッグデータに基づく個別化医療、がん予防を推進できる能力を育成するための大学院教育を強化し、臨床看護師を対象としたインテンシブセミナーの企画を多数予定しています。



*がんプロ事業とは、文部科学省の助成事業として、2007～2011年がんプロフェッショナル養成プラン(第1期がんプロ)、2012～2016年がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン(第2期がんプロ)、2017～2021年多様な新ニーズに対応する『がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)』養成プラン(第3期がんプロ)として、がん医療専門人材の養成事業である。2023～2027年は、次世代のがんプロフェッショナル養成プラン(第4期がんプロ)として展開されている。

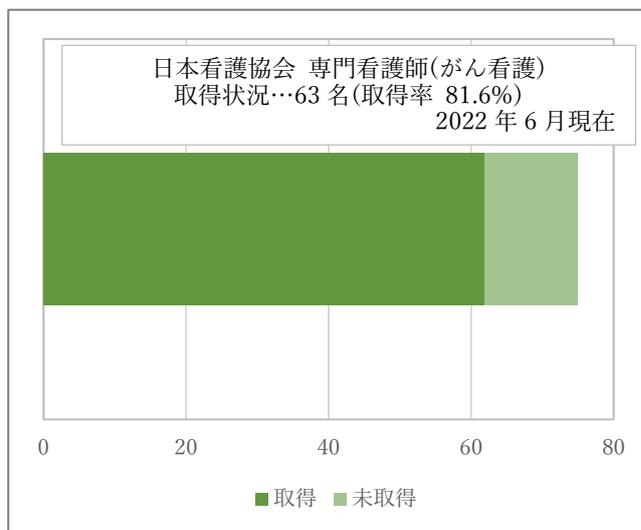
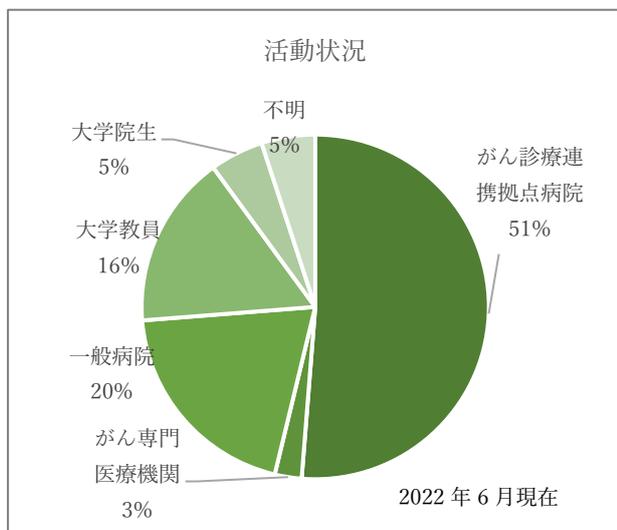


<がんプロ主な活動変遷>

	1期 平成 19 年～23 年 がんプロフェッショナル養成プラン	2期 平成 24 年～28 年 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン	3期 平成 29 年～令和 3 年 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン	4期 令和 5 年～ 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン
取組名	チーム医療を推進するがん専門医療者の育成	地域・職種間連携を担うがん専門医療者養成	ゲノム世代高度がん専門医療人の養成	地域に生き未来に繋ぐ高度がん医療人の養成
インテンシブセミナー(例)	Advanced Nursing Care or the patients with Radiation Therapy (Miranda Kramer: University of California, San Francisco Radiation Oncology Nurse Practitioner)(明石看護キャンパス/2011 年) 	がん告知直後の心理的対応 (Marcia Shannon:Assistant Professor of Nursing Saginaw Valley State University) (兵庫県立がんセンター/2014 年) 	ゲノム医療と倫理・社会的問題～遺伝カウンセリングを通じた関わりを中心に～(田村 智英子:FMC 東京クリニック/認定遺伝カウンセラー)(神戸国際会館/2018 年) ※セミナーは 2020 年度より Zoom 開催 	がんサバイバーのリスクアセスメントとがん予防(伊藤 ゆり:大阪医科薬科大学)(Zoom/2023 年 11・12 月)
合同研修内容(例)	わが国のこれからの医療政策とがん医療について(高野山真言宗常光円満寺/2010 年) 	同時併用放射線化学療法の症例検討(神戸国際会館/2014 年)	基調講演「看護師の立場から見たがんゲノム医療の現状と課題」(大阪大学中ノ島センター/2018 年) ※合同研修は 2020 年度より Zoom 開催 	2023 年秋ごろ予定

●●●修了生●●●

修了生の多くは、がんを専門とする医療機関または研究・教育機関を中心に活動しています。また、8割以上が日本看護協会の専門看護師(がん看護)を取得しています。



* 修了生の声 <http://www.apnhyogo.net/voice/>

